

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	産業基盤の整備・充実	施策No	05-01	部課名	産業経済部経営支援課	
関連部課名						
行政評価	分野	Ⅲ	産業革新都市			
事業体系	政策	05	活力ある地域経済づくり			

目的 区が有する交通結節点としての優位性やモノづくり企業の集積等の地域ポテンシャルを活かした産業基盤の整備・充実を図ることにより、区内企業の活動を支援し、産業の活性化を促進する。

指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文
	25年度	26年度	27年度		
①	まちの産業	2.52	2.50	2.51	荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力がありますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)		
①	産業情報システムへの登録企業数	9,928	9,830	9,637	9,600	9,600	各年度末(産業未分類除)
②	産業ホームページ掲載企業数	924	919	869	890	890	各年度末(産業未分類除)
③							
④							
⑤							

現状と課題（指標分析）

○これまでの景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者の確保難等により、事業所数の減少傾向が続いており、産業活力の低下を来たしている。

○モノづくりのまち「荒川」を再生するため、新分野進出、販路拡大、後継者育成など、区内企業の経営革新に向けた取組みを支援するため、ハード、ソフト両面から基盤整備を一層推進するとともに、新たな区の基幹産業となりうる新産業の育成に取り組むことが必要である。

○「荒川区製造業実態調査」では「廃業・清算」予定者が多いとの結果を得たため、円滑な廃業となるよう、支援策を検討していくことが必要である。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

○産業振興の拠点となる産業振興施設の整備の必要性等について総合的に検討を行っていく。

○区内企業の情報を一元的に収集し、情報発信等を通じて、受発注等販路拡大に活かしていく。

平成25年度「荒川区製造業実態調査」の結果を踏まえ、企業情報を整理するとともに、平成26年度に実施した「小規模企業経営力強化支援事業」を展開するように、産業振興施策に有効活用していく。

○区内のモノづくり企業の団体である工業団体連合会を支援し、企業間交流及び人材育成を促進する。

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	ハード、ソフト両面から産業基盤の整備・充実を図ることは、区内産業の活性化を促進していくために必要不可欠であり、当該施策の優先度は高い。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
企業訪問管理システム事業	05-01-44	-	2,657	継続	継続	区内企業のデータ・ベースの整備を継続して行い、受発注支援や区内企業の実態把握等に活用していく。
産業振興懇談会運営	05-02-01	0	0	推進	推進	新たな産業振興施策の構築のためには、各分野の専門家や企業経営者等による大所高所からの検討は重要である。
地域産業情報システム事業	05-02-02	2,290	0	推進	改善・見直し	データベースの一層の整備・活用を目指し、「企業訪問管理システム事業」に移行する。
工業団体連合会補助事業	05-02-03	14	14	継続	継続	工業団体連合会は区内のモノづくり企業を束ねる唯一の団体であり、その維持・継続のための一定の支援は、区内産業振興の観点から必要である。
荒川区ものづくりセンサス	05-02-04	-	-	休止・完了	継続	調査結果を活かし、区の施策を実施していく必要がある。 一定期間を開けて実施しているため、今年度は休止し、次回は平成29年度を予定している。
合 計		2,304	2,671			